

令和8年度第2回岩手県地域公共交通活性化協議会 議事要旨

1 日時

令和8年9月3日（木）14：00～15：00

2 場所

盛岡地区合同庁舎 大会議室

3 主な議事内容

(1) 報告事項

- ① 令和8年度生活交通対策部会の開催実績について
- ② 岩手県地域公共交通利便増進実施計画の認定について

(2) 協議事項

岩手県地域公共交通計画の令和7年度評価について

4 主な意見等

(2) 協議事項

岩手県地域公共交通計画の令和7年度評価について【資料3】

発言者	発言内容
委員	・指標⑦「バス運転士の新規確保人数」について、年度ごとの実績を見ると令和6年度と比較して令和7年度実績はおよそ半数近くになっている。これは、市町村や事業者の取組は変わらないが頭打ちになっているのか、それとも取組が変わったから減少したのか。もし分析を行っていただければ教えていただきたい。
事務局	・本指標の実績は県内で路線バスを運行している主要バス会社3社の雇用数を足し上げたもの。バス事業者においては、継続して採用活動を行っており、県においても運転士確保に向けた取組を支援しているところであるが、結果的に令和6年度に比べて少ない人数となっている。なぜ少なかったかは分析ができていないところであるが、各バス事業者で何か要因があればコメントをいただきたい。
委員	・当社でも令和6年度は採用が多かった。令和7年度についてはその半数程度しか応募者がおらず、入社する人も少なかった。理由の分析を行っているわけではないが、今年度はすでに昨年度一年間の実績を超える状況であり、順調に推移している。

発言者	発言内容
委員	• 必要な運転士人数は会社の計画の中で定めており、事業計画の中で効率化を図っていることから毎年同じ人数採用するわけではない。 ただ、昨年度は応募者数が少なかったのも事実。また、大型二種免許を持っている経験者も少なく、未経験者が多く育成に時間を要している。
委員	• 盛岡支店では募集に対して希望する人数は来ていない。 分析は行っていないが、他業種、タクシーや貨物、トラックの給与が上がってきており、昔よりも差がなくなっている。規制が変わったことにより、労働者の働きやすさが高められてきているのに対し、路線バスは朝早く夜遅いため長時間労働になりやすい。盛岡支店は泊りが多いので、そこも原因の一つとして考えられる。